令和7年度 出資法人経営評価表

法人名 公益財団法人 淡海文化振興財団

1 人員、県の人的関与の状況

(単位:人) ①会員の状況 (一般・公益社団法人のみ) R5→R6増減 R5年度 R6年度 ②役員の状況 R5年度 R6年度 R5→R6増減 R7年度 評議員総数 8 うち県職員(特別職を含む。) うち県退職職員 (OB) 理事総数 9 うち県職員(特別職を含む。) うち県退職職員 (OB) うち常勤役員数 うち県職員(特別職を含む。) うち県退職職員(OB) 監事総数 うち県職員(特別職を含む。) うち県退職職員(OB) うち常勤監事数 うち県職員(特別職を含む。) うち県退職職員(OB) 報酬額・年齢 常勤役員の平均年齢 常勤役員の平均報酬(年額) (千円) 役員の報酬総額(年額)(千円) 4, 877 4, 909 32 4, 997 ③職員の状況 R5年度 R6年度 R5→R6増減 R7年度 職員総数 Δ 1 4 3 常勤職員 4 プロパー職員 うち県退職職員(0B) 県等からの派遣職員 うち県派遣職員 臨時・嘱託職員 うち県退職職員(0B) 非常勤職員 2 Δ 1 3 うち県派遣職員

県の財政的関与の状況

プロパー職員の平均年齢

職員の給与総額(年額)

プロパー職員の年代別職員数

(令和7年度当初実数)

プロパー職員の平均給与(年額)(千円)

うち県退 職職員(OB)

(千円)

10代

20代

(単位:千円)

62. 3

5, 220

21, 371

合計

2 来0别或时舆子0.00%							
	項	目	R5年度	R6年度	R5→R6増減	R7年度	備考(R7内訳)
県からの 年間 収入額	補助金	事業費補助金					
	(運営費補助金	46, 831	48, 848	2, 017	47, 000	公益財団法人淡海文化振興財団 運営事業費補助金 47,000
	負担金						
	委託料						
	その他						
	合計		46, 831	48, 848	2, 017	47, 000	
年度末 残高	県からの借入金						
残高	県からの損失補償・債務保証						
短期貸付金の金額 (期間中の県からの借入れで、同一年度に貸付けた返済の双方が行われるもの)							

30代

58. 0

4, 978

24, 240

40代

59.0

5, 188

25, 609

50代

1.0

210

1, 369

60代~

3 評価

区分	評価項目	評価内容		項目	IΞO	出資法人の所見	県の所見	
区方	計価項目			R4 R5		出員法人の別兄	泉の所見	
効果性		中期経営計画、年度目標とも策定している。	0	0	0			
	中期経営計画、年度目標の策定	中期経営計画のみ策定している。				令和元年度に策定した中期計画(R2~R6)に基づ	財団は令和元年度に策定した中期計画に	
	十朔柱呂司四、千度日保の東と	年度目標のみ策定している。				き、県民による主体的な社会貢献活動を、より堅実で		
		策定していない。				広がりのあるものにしていくため、5つの重点取組(活動の発展の発展の発展)		
		全ての事業が社会情勢に適合し、その意義は大きい。	0	0	0	動・組織基盤の強化、寄附を原資とした市民活動団 体への助成事業(「未来ファンドおうみ」助成事業)、	に努めている。 NPO等の組織基盤強化を図るため、ファン ドレイジングセミナー等の開催や、伴走支援	
	事業活動の社会情勢への適合性	社会情勢に照らして意義が薄れてきた事業がいくつかある。						
		社会情勢に照らして意義の薄れてきた事業が多くある。				に事業展開している。	を含めた助成金事業を実施していくとともに、	
		活動について成果目標を定め、目標以上に達成している。				事業の実施に当たっては、セミナーや講座等の開	地域課題解決に向けた行動ができる人材の	
		活動について成果目標を定め、目標どおり達成している。				催時にはアンケートを実施するなど参加者の意向の	養成講座「おうみ未来塾」を開催している。	
	活動の成果の達成度	活動について成果目標を定め、概ね目標どおりに達成している。	0	0	0	把握に努めている。社会情勢の変化に対応するた	県としては、財団が把握した県民ニーズに	
		活動について成果目標を定め、達成しているものもあるが、十分ではない。				め、年間寄附額やセミナー等の理解度等の目標を設	応えられるよう、各種セミナーの内容検討や	
		活動について成果目標を定めていない。				定した事業評価制度を運用し、概ね目標を達成して	おうみ未来塾卒塾生のネットワーク化に向け	
	なり 間点表質のこ ずの押提出	多様な調査を実施し、積極的にニーズの把握に努めている。	0	0	0	いる。	たヒアリング等を財団と協力しながら進めて	
	住民、関係者等のニーズの把握状	ニーズを把握するための手段を講じている。					いる。	
	<i>D</i> L	具体的な取組はしていない。						
		管理費比率が2期連続で減少した。						
ᄽᅑᄴ	経常費用に占める管理費の状況	管理費比率が前期に比べ減少した。			0	当期は管理費比率がやや減少しているが、経常収	消耗品・通信費・高熱水費等の管理費を節減したことにより、管理費比率がやや減少した。 引き続き経費の削減ならびに自主財源の確保に努めるよう助言を行う。	
劝华注		管理費比率が前期に比べ増加した。	0		1	益は経常費用を上回っている。		
		管理費比率が2期連続で増加した。		0	1)		
	経常収益・費用の比率	経常収益が2期連続で経常費用を上回った。			0			
		経常収益が、当期は経常費用を上回った。		0	1			
		経常収益が、当期は経常費用を下回った。			İ			
		経常収益が、2期連続して経常費用を下回った。	0		İ			
		当期末において債務超過でない。	0	0	0	寄付金による基金の積み立ての増加に伴い、2期 の	債務超過や累積欠損金、借入金もなく財務の健全性は一定保たれている。 「未来ファンドおうみ」助成事業について、今	
はなる。		2期連続で改善した。						
1姓土1土	債務超過の状況	前期に比べ改善した。						
		前期に比べ悪化した。			1	連続で正味財産が増加している。		
		2期連続で悪化した。				今後とも運営経費の削減などファンド事業の見直した。これにより、ロストはないのでにあります。	後もより幅広い理解と資金を得られるよう助言を行う。	
		2期連続で増加した。			0	を行うとともに、自主財源の確保や「おうみ良うなる! 元気商品プロジェクト」の推進をはじめ、企業訪問の		
	正味財産期末残高の状況	前期に比べ増加した。		0		増や遺贈寄附の受入れ等により、ファンド事業への		
		前期に比べ減少した。	0			理解を得ることで受入れ寄附金の拡大に努める。		
		2期連続で減少した。						
	累積欠損金の状況	当期末において累積欠損金はない。	0	0	0			
		累積欠損金は、2期連続で減少した。						
		累積欠損金は、前期に比べ減少した。						
		累積欠損金は、前期に比べ増加した。						
		累積欠損金は、2期連続で増加した。						
	短期的支払い能力の状況	流動比率は、2期連続で100%以上であった。	0	0	0			
I		流動比率は、当期は100%以上であった。						
		流動比率は、当期は100%未満であった。						
		流動比率は、2期連続で100%未満であった。						
		当期末において借入金はない。	0	0	0			
		2期連続で低下した。						
	借入金依存率の状況	前期に比べ低下した。						
I		前期に比べ上昇した。						
		2期連続で上昇した。						

区分	評価項目	評価内容		項目	ΙΞO	出資法人の所見	県の所見	
丘刀	計画項目			4 R5 R6		山貝広人の別兄	泉の別兄	
白立性	知事・副知事の代表者への就任状 況	知事・副知事が法人の代表者へ就任していない	0	0	0	_	_	
		知事・副知事が法人の代表者へ就任している						
	県派遣職員の状況	当期末において県派遣職員はない 常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ低下した。 常勤職員に占める県派遣職員の割合は前期と概ね同程度 常勤職員に占める県派遣職員の割合が前期に比べ上昇した。	0	0	0	県の施策と連携、協働した取組を進めていくために は、今後も県退職職員の就任等、県からの人的な支 援が必要である。	NPO等への人材育成や助成等の直接的な 支援は財団に委ね、県は特定非営利活動促 進法に基づくNPO法人への指導監督等を行う	
	県退職職員の就任状況	当期末において県退職職員はない 常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ低下した。 常勤職員に占める県退職職員の割合は前期と概ね同程度 常勤職員に占める県退職職員の割合が前期に比べ上昇した。	0	0	0		ことで、分担して多様な主体による協働を推進している。県退職職員による人的支援を行うことで、より連携した事業推進を図っていく。	
	県財政支出の状況	当期末において県の財政支出はない。 経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で低下した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ低下した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が前期に比べ上昇した。 経常収益に占める県の財政支出の割合が2期連続で上昇した。	0	0	0	財団が実施する事業は公益目的の性格が強く、収 益事業は行っていないことから、県補助金への依存 度が高くなっている。 引き続き、講座等の参加料収入や広告料収入、賛	令和5年度と比べ寄附金収入が減少したことにより、県の財政支出割合がやや増加した。 財団の自立性を高めていくため、賛助会員	
		当期間中において県の短期貸付けはない 県の短期貸付けの額が2期連続で減少した。 県の短期貸付けの額が前期に比べ減少した。 県の短期貸し付けの額が前期と同額である。 県の短期貸付けの額が前期と同額である。 県の短期貸付けの額が前期に比べ増加した。 県の短期貸付けの額が2期連続で増加した。	0	0	0	助会員制度等により、自主財源の確保に努めていく。	制度の導入や各種講座開催に係る参加料の徴収等が行われているが、更なる自主財源を確保するための取組について助言を行っていく。	
	損失補償の状況	当期末において県の損失補償・債務保証はない 県の損失補償・債務保証の額が2期連続で減少した。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ減少した。 県の損失補償・債務保証の額が前期と同額である。 県の損失補償・債務保証の額が前期と比べ増加した。 県の損失補償・債務保証の額が前期に比べ増加した。 県の損失補償・債務保証の額が2期連続で増加した。	0	0	0			
透明性	情報公開規程の整備状況	規程を整備している。 規程を設けていない。 規程を設けていない。 規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。		0		財務諸表等を財団のホームページで公表するなど 透明性の確保に積極的に取り組んでいる。平成28年	情報公開規程を整備し、財務諸表や事業報 告等を財団のホームページ等で公表すること	
	情報公開の実施状況	ホームページ等により不特定の者に対し情報公開を行っている。 不特定の者に対し情報公開を行っていない。			Ī	度から経営評価の状況についても財団のホームページでみだけれる。	で透明性の確保に取り組んでいる。 また、令和3年7月から文書管理規程による	
	文書管理規程の整備状況	規程を整備している。 規程を設けていない。 規程を設けていない(県の資本金等の割合が1/2未満)。	0	0	0	文書管理規程については、規程を制定し、令和3年 7月から運用を開始している。	単用を開始してあり、適切な又書官埋か行われるよう助言する。	
	文書管理の実施状況	情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っている。 情報公開の資料に係る文書の作成、整理、保存等を行っていない。	0	0	0			
	会計専門家の関与状況	作成した財務諸表について、会計監査人監査を受けている、または、財務 諸表の作成過程で、会計の専門家の指導・助言を受けている。 会計の専門家による監査・指導・助言等は受けていない。	0	0	0			
	業務監査の実施状況	業務監査を実施している。 業務監査を実施していない。	0	0	0			

	出資法人の総	合的評価·対応	県による総合的評価・対応		
事業に関する事項	中期計画に基づき、広域的な市民活動支援 度により、社会情勢の変化やニーズに対応した や市町、関係団体、企業等と更なる連携協力を	に係る各種事業の推進を図った。事業評価制 と事業の点検見直しを実施している。今後も県 を図りながら事業の展開を図る。	財団は、NPO等の組織基盤強化を図るため、ファンドレイジングセミナー等の開催や、伴走支援を含めた助成金事業を実施していくとともに、地域課題解決に向けた行動ができる人材の養成講座「おうみ未来塾」の開催している。今後も、引き続き財団への支援を通じて、NPO等の活動基盤の強化を図っていく。		
財務に関する事項	財団運営を確保していくため、自主財源の確保		財団は、多様な資金の調達に取り組んでおり、賛助会員数の増加や、企業等への協力依頼に努めている。引き続き、財団の自立性拡大のため、自主財源の確保に努めることを求めていく。		
	積極的に働きかけ、賛助会員数の拡大を図る 「未来ファンドおうみ」助成制度については、 を得ることなどにより寄附につなげていく。	ークホルダー(関係者)にあらゆる機会を捉えて	財団には今後も協働を担うことができるNPO等の育成や助成に取り組んで行くよう求めて		
	実施計画に定める「具体的	的な取組内容」の進捗状況	実施計画に定める「具体的な取組内容」の進捗状況		
行政経営方針実施計画 に関する事項 ※実施計画は次頁参照	「未来ファンドおうみ」については、「おうみ良 訪問等により、寄附の確保に努め、賛助会員! た。	:した新しい運営体制で、第17期を終了すること も取り組んだ。	同左		
	実施計画に定める目標	左の実績	実施計画に定める目標	左の実績	
	・事業評価伴走支援団体数 1団体×5年 ・賛助会員数 令和8年度 150人(団体) ・寄附 令和4年度~令和8年度 11,300千円 ・「おうみ未来塾」卒塾生が地域で活躍して いる割合 令和8年度 65%	・伴走支援団体数 令和6年度 1団体 ・賛助会員数 令和6年度 117人(団体) ・寄附 令和6年度 4,457千円 ・「おうみ未来塾」卒塾生が地域で活躍して いる割合 令和6年度 70%	同左	同左	
総 合 所 見	ながら事業を展開し、財団の自立性を高めるが 来ファンドおうみ」に対する寄附の確保など、則 今後とも、NPO等の活動の成果を可視化する 等の民間公益活動に人材、資金等の資源を呼	5事業評価の普及促進に取り組むことで、NPO 『び込み、組織基盤の強化につながるよう支援 市町域の市民活動センターへの支援』へと事業	今後とも、情報収集に努め、NPO等の組織基盤の強化や活動の活性化につながる支援に取り組んで行くよう求めていく。 また、自立性を高めるため、一層の自主財源の確保に取り組み、事業内容の見直しを求		

【参考資料】

財務諸表等へのリンク

https://ohmi-net.com/about/jigyou-2/

※行政経営方針実施計画(2023年度~2026年度)

4 公益財団法人淡海文化振興財団 【担当部課名:総合企画部県民活動生活課】

基本的な考え方(現状認識・今後の方向性)

当財団は、協働の主体となる NPO や市民活動団体の人材育成、活動助成等の直接的な支援を行うことで、県とともに多様な主体による協働を推進する重要な役割を担っている。今後も、協働を担うことの出来る NPO 等を育成するためには、長年にわたり蓄積してきた支援の実績、経験を有する財団の存在は不可欠である。これまでから業務執行体制の見直し等経費の節減を図っているものの、財団の収入の大半を県からの補助が占めている状態であり、遺贈寄附の受け入れなど独自財源の獲得により、自立性の拡大を図る。

人们など独自的派の獲得により、自立性の加入を図る。								
具体的な取組内容	(令和 4 年度) (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)	令和 8 年度 (2026 年度)	目標		
1 市民活動の成果と価値を可視化、検証し、活動の改善や資金提供者への説明責任につなげる「社会的インパクト評価」等の事業評価につい		NPO 等への事業評価の普及				事業評価こいて伴走支援する団体数 令和4年度(2022年度)1団体→令和4年度~令和8年度(2022年度~2026年度)		
て、団体を適切に支援できるよう財団職員の資質の向上を図り、NPO 等への同評価の普及に取り組む。【出資法人】						1 団体× 5年 ○賛助会員数		
2 ・財団事業の成果の明確化などで、財団および財団事業への理解を得ることにより、賛助 会員数の増加を図る。【出資法人】		賛	 加会員の募集・拡入 	<u> </u>		令和 4 年度(2022 年度) 105 先(人・団体)(見込) →令和 8 年度(2026 年度) 150 先(人・団体)		
・「未来ファンドおうみ」の安定した運営を目指 し、企業訪問の一層の強化や遺贈寄附への 取組などにより、財源確保の為の寄附増強を		未来ファン	ドおうみへの寄附の	確保		○寄附 令和4年度(2022年度) 2,000千円(見込) →令和8年度(2026年度) 2,500千円		
図る。【出資法人】 3 「おうみ未来塾」について、あり方検討の結果を踏まえ、令和5年度(2023年度)から	新アドバイザ-	-体制の確立	第17期入塾	以降の運営		令和 4 年度~令和 8 年度(2022 年度~2026 年 11,300 千円		
は、卒塾生アドバイザーを中心とした新しい運 営体制で、卒塾生のネットワークづくりやフィー		卒塾	・ 生のフォローアップ			○地域で活躍する「おうみ未来塾」卒塾生の割合 令和4年度(2022年度) 56%(直近3期・見込)		
ルド開拓を進めながら、新しい「おうみ未来塾」 を目指し、より一層地域で活躍する人材育成	卒塾生のネッ	トワーケづくり				→令和8年度(2026年度) 65%(直近3期)		
を行う。【出資法人】 4 令和7年度(2025年度)から令和11年度 (2029年度)までの5年間を計画期間とする財	現中期経営計画	画の遂行				※上記の目標は、令和元年度(2019年度)に策定された当法人の中期経営計画に基づく。		
団の次期中期経営計画を令和 6 年度(2024年度)中に策定する。【出資法人】		現況抵	嘘・計画策定	新中期経営計	画の推進			
備考								